

医労連速報 `04年春闘

2004年3月17日 N0.6 東京都台東区入谷1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871 fax 03-3875-6270

不当な切り下げ・低額回答に抗議し、産別統一ストに決起しよう!

春闘全体の流れは「年収確保」、切実な要求を堅持して統一闘争を強化しよう!

23時分現在/回答数100(03年77、02年111)、総額平均5,264円・2.11%、前年比 524円・0.15%
ベア+定昇=7組合、定昇のみ(相当)74組合、切り下げ19組合

<生活の改善にむけて要求を堅持しベア獲得に向けてたたかいを飛躍的に強化しよう>

17日23時現在、100組合が回答を引き出しました。その内容は基本的には「定期昇給」の実施です。定昇程度では、6~7前の水準に切り下げられた年収の回復、生活改善と向上にはほど遠く、様々な負担増などにも対応できません。労働協約や就業規則に基づく定期昇給の実施は当然です。しかし、財界・経団連の「定昇見直し」方針のもとで、経営者の「凍結」や「削減」の思惑を跳ね返していること、回答数も昨年を上回ったことは産別としてのたたかいの結果でもあり確信を持つ必要があります。ベア回答を引き出した組合も7組合となっており、今後の産別春闘の流れをつくるものです。

ベア要求を見送った連合の大企業労組でも、一時金では満額を獲得しており(速報N05参照)、このままでは他産業との格差はますます拡大します。切実な生活実態を改善し、「社会的役割にふさわしい賃金水準確立」への展望を切り開くためにはなんとしてもベアを獲得する必要があります。

<3.18統一行動に決起し、切実な要求に背を向ける経営者には産別の力を集中して反撃しよう>

青森・青森民医労青森保健と同健康企画、神奈川・藤沢病院労組、長野・中信民医労、東京・厚生荘病院労組、愛知・堀尾安城病院労組、愛媛・松山医療生協労組で「定昇+ベア」の回答が示されました。しかし一方では、合理的な理由のない回答引き伸ばし、経営優先の予算構想「提示」、定昇凍結、削減回答など、産別統一闘争に挑戦する不当な回答も出されました。指定日厳守、具体的な回答と明確な説明は労使関係の基礎であり守るべきルールです。不当な回答には産別の力を集中して毅然として反撃しましょう。

3.18全国統一行動では、回答引き伸ばしや、定昇凍結などの不当な回答への抗議とともに、年金改悪反対、医療機関の統廃合反対、医療と雇用を守る諸要求をかがげて多様な行動を展開します。健保労組は、29支部がストライキ、全日赤は14単組のストライキを含めて8千人行動を実施します。全医労・全労災・公共労・国共病組も時間内外の職場集会を、25の県医労連70単組が、30分から半日のストライキを構え、約7万人の組合員が、スト・集会・宣伝など多様な行動に立ち上がります。

<組合員のエネルギーに依拠し、「安全・安心の医療確立」に向けて04春闘の前進をかちとろう>

2004年春闘は、小泉「医療・社会保障構造改革」路線の転換を求める闘いであり、3.18統一行動は、その闘いの節目です。全ての加盟組織が要求を堅持し、組合員の要求とエネルギーに依拠して断固とした闘争を強化しましょう。「安全・安心の医療確立」は国民的合意であり、医療経営者にはその保障である人的体制の確保、賃金・労働条件改善に努める使命があります。当該単組、県医労連、地方協、本部の連携と相互支援を強め、産別全体の力の集中をはかり切実な要求を正々堂々と掲げて一層奮闘しましょう。(以上)

年金大改悪反対、平和を守る課題、組織の拡大・強化に全力をあげよう!